



別冊社協みの



この広報は共同募金の協力により発行しています。

つうしん むすび

第15号

平成29年6月1日

発行 社会福祉法人美濃市社会福祉協議会



社協犬 おむすび

社会福祉協議会・美濃市ボランティアセンターは「ボランティアのまち宣言」から21年目を迎えました。誰でも、楽しく、ボランティア活動に参加できるまちづくりを目指し、より多くの皆さんと関わっていきたくと思っています。

さて、今回のむすびでは、活動中のボランティアさん取材してきました。ボランティアをもっと身近に感じ、無理なく自分に出来る事から始めてみませんか？

～人と人 心と心をつなぐ犬「おむすび」からのレポートです～



わたしたちのまちで活躍するボランティアさんに会ってきました!

市内の福祉施設で行われる、春の花見行事や夏祭り、秋の紅葉狩りでは、大勢のボランティアさんが参加して、外出介助をします。利用者さんが到着すると「こんにちは！大丈夫ですか？気をつけてくださいね。」一人一人に声をかけながら、手を取り、お手伝いをします。ボランティアさんの元気と優しさで、お互いに自然と笑顔が生まれます。



陽光園で毎月2回行われる、車椅子清掃でも、ボランティアさんが活動されています。取材した日は「NTT OBたわら会」と、個人ボランティアさんが、一つ一つ丁寧に作業されていました。「無理しない、強制しない、できるだけ」を心掛けながら、活動を続けてみえます。



ボランティア活動は、自分にできる事、関心や生活スタイルに合わせて参加できます。

活動を通じて様々な人達と出会い、仲間ができ、協力しあうことで、人と心の「つながり」が生まれます。このつながりが、活動する自分自身もより豊かにしてくれます。

ボランティアに興味がある方
始めてみたい方のお手伝いをします
美濃市ボランティアセンター
☎0575-35-2355





蕨生サロン復活に喜びの声！



蕨生サロンが1年間の活動休止期間を経て、民生委員をはじめ運営スタッフの皆さんの協力のもと、蕨生島・蕨生洞地区の2か所で再スタートしました。

洞サロンでは、一緒に食事を楽しんだ後、地域に伝わる「蕨生音頭」「下牧小唄」を唄いながら、昔話に花を咲かせていました。サロン計画を見つめながら「楽しみが一つ増えた。」とみなさん嬉しそう。

島サロンでは、食事の後は輪になって「健康体操・ゲーム」を行いました。手を叩いてリズムを取りながら“しりとり”遊びで大盛り上がり。「久しぶりに笑い涙が出た！」と楽しいひと時となりました。



よりよいサロンにするために・・・



ふれあいサロン研修会を開催しました

いきがいデイサービス指導員の由原さんを講師として迎えて研修会を開催し、各サロンの運営スタッフが受講しました。「参加者の気持ち、どうしたら喜びを感じてもらえるか、認知症予防の為にサロンで出来ることは何？」などの講義にみなさん真剣に聞き入っていました。

その後は「座ったまま運動、指体操、笑える遊び、折り紙」などのレクリエーションを体験し「簡単そうで出来ない！出来るはずなのに！」と悔しがりながらも大笑い。

楽しみながら体を動かし、笑うことで、心も体も健康になれるサロンの良さを、地域の皆さんに広めていきたいと思ひます。



人と人 心と心を結ぶ笑顔の地域づくり
美濃市社会福祉協議会

〒501-3743

美濃市 95-2 福祉会館内

TEL (0575)35-2355 FAX (0575)35-1935

info@mino-shakyo.or.jp <http://www.mino-shakyo.or.jp>

